

第1問 世界史上の様々な形態の帝国 (配点27)

- 問1 正解④ 神聖ローマ帝国は、962年にドイツ王オットー1世がローマ教皇から戴冠されて成立し、1806年に解体した。④の皇帝ハインリヒ4世は、教皇グレゴリウス7世と聖職叙任権をめぐる衝突し、1077年のカノッサの屈辱で教皇に屈伏した神聖ローマ皇帝。①「五賢帝時代」は、ローマ帝国の全盛期の1～2世紀で、帝国領土を最大としたトラヤヌス帝やストア哲学者としても有名なマルクス=アウレリウス=アントニヌス帝などを輩出した。②フランスと百年戦争を起こしたのはイギリス。③ナポレオンにより神聖ローマ帝国は消滅した。標準問題
- 問2 正解② ドイツ帝国は、1871年にプロイセンの宰相ビスマルクがナポレオン3世のフランスと普仏戦争に勝利し、ドイツ統一に成功して成立した。①ビスマルクは普墺戦争に勝利し、オーストリアを除いて、北ドイツ連邦を形成した。③即位後にビスマルクと対立して辞職に追い込んだのは、ヴィルヘルム2世である。④三国同盟は、ドイツ帝国、オーストリア=ハンガリー帝国、そしてイタリア王国である。フランスは1891年にロシアと露仏同盟を形成してドイツと対立した。込み入っているがスタンダードな問題。
- 問3 正解③ 1858年にシバーヒーの反乱でムガル帝国を滅ぼし、東インド会社を解散させたイギリス政府は、インド統治法によりインドを直轄支配し、1877年にはヴィクトリア女王を皇帝にインド帝国を樹立した。①中国の分割に関する問題で、膠州湾を租借したのはドイツである。フランスが租借したのは広州湾である。②イギリスの帝国主義政策の一貫が3C政策で、ドイツの帝国主義政策は3B政策である。④「リベリア」は、帝国主義列強によるアフリカ分割のなかで、エチオピアとともに独立を維持した。難問ではない。
- 問4 正解① ムッソリーニは、イタリア領ソマリランドとエチオピアの国境紛争を口実に侵略を開始し、1936年にエチオピアを併合した。②スペイン内戦でフランコ側を支援したことを機に成立したのは、ベルリン=ローマ枢軸である。③ズデーテン地方は第一次世界大戦後、チェコスロヴァキア領とされ、ヒトラーはその併合を求め、1938年にミュンヘン会談が開催され、英仏は対独宥和政策をとった。④パリ陥落後、フランス中部のヴィシーに親独政権を樹立したのはペタンで、ナチス=ドイツに降伏した。イギリスに亡命してヒトラーに抵抗したのは、ド=ゴールが正しい。標準的問題。
- 問5 正解① 「ジズヤ」はイスラム世界で非イスラム教徒に課した人頭税のこと。②国土回復運動(レコンキスタ)はイベリア半島のキリスト教国による、イスラム抵抗運動で、その過程で1479年にスペイン王国が成立した。③エジプト遠征のフランス軍を指揮したのは、ナポレオン=ボナパルト。このあと、彼はフランスに帰国し、ブリュメール18日のクーデタにより總裁政府を倒して統領政府を樹立した。④「スレイマン1世」はオスマン帝国全盛期のスルタン。ムハンマド(メフメト)=アリーが正しい。消去法で考えると以外と平易な問題。

問2 正解① 宋は、1044年に、タングート族の西夏とも慶暦の和議を結び、銀・絹・茶の歳幣を贈ることを約した。②耶律阿保機は、916年に遼を建国し、渤海を滅ぼした直後の926年に没した。宋との和議は1004年で、当時の皇帝は聖宗。③遼は1125年に女真族の金に攻略されて滅亡し、その一族の耶律大石が、中央アジアに逃れてカラ=キタイ（西遼）を建てた。④「旧法党」は、11世紀後半の王安石の新法に反対する司馬光らを中心とする保守派官僚勢力で、史料文の和約締結時には、未だ存在していない。選択肢が全体的に詳細事項が多く難問か。

問3 正解③ 史料文中の「サハリヤン=ウラ」や「黒龍江」などから、①のアイグン条約と混同した受験生も多かったと予想される出題。通常の学習では、ネルチンスク条約は、アルグン川とスタノヴォイ山脈（外興安嶺）を国境とし、また、②のキャフタ条約は、外モンゴルとシベリアの国境確定、④の北京条約は、沿海州のロシア獲得と認識している。史料文中の「石のある大きな山脈」が外興安嶺であることが指摘されていれば、戸惑う人は少なかったろう。

問4 正解① 問3のネルチンスク条約は、1689年に締結された。呉三桂らの三藩の乱は1681年に平定されているので、①が正解。②の『四書大全』は明の永楽帝時代の編纂、③のエセン=ハンは、オイラート部の指導者で1449年に土木の変で、明の皇帝英宗（正統帝）を捕虜とした。④の勘合貿易は、明が朝貢する諸国に対して勘合符を与えて行った貿易で、洪武帝に始まるが、日本では足利義満が、明の永楽帝に朝貢し、1404年から行った。

問5 正解② 条約文中の「領土上の現状維持、国境の不可侵、非武装地帯」「いかなる場合にも戦争に訴えない」などから、判断できる基礎的問題。①1922年のドイツとソヴィエトの修交条約である。③は第一次世界大戦末期の1918年にソヴィエト政権とドイツが締結した講和条約。④は1919年締結された連合軍とオーストリアとの講和条約。

問6 正解③ ロカルノ条約締結に尽力したのは、フランスのブリアンとドイツのシュトレゼマンである。①はルール地方、④はロンドン会議が正しい。

問7 正解③ ダンツィヒはヴェルサイユ条約により国際連盟管理下の自由市となっていたが、1935年以降、ナチスが支配するようになった。①は1933年、②は1935年、④は1936年のナチス=ドイツの外交政策である。基礎的な問題である。

問8 正解① マーシャル=プランは、1947年にアメリカ国務長官マーシャルが発表したヨーロッパ経済復興援助計画。これを拒否したソ連と東欧諸国は、コミンフォルムを組織して対抗した。②のドーズ案、③のフーヴァー=モラトリウム、④のヤング案はいずれも第二次世界大戦以前の事項であり、平易な問題。

問9 正解③ 1947年のトルーマン=ドクトリンは、ギリシア・トルコの共産化防止を目的とした援助表明で、アメリカの対ソ封じこめ政策の開始であった。

問10 正解③ 第一次世界大戦前、第2次バルカン戦争で主にセルビアに敗北したブルガリアは、ドイツ側に接近した。従って、④が誤っていることも判明する。①ルーマニアは、クリミア戦争後にモルダヴィア・ワラキア連合公国が形成され、1878年のベルリン会議で独立が承認されて1881年にルーマニア王国が成立した。②ポーランドの黄金時代を現出したヤゲウォ朝は、1572年に断絶した。ポーランドの分割は第1回が1772年である。

第3問 世界史における知識人の多様な役割 (配点27)

- 問1 正解④ 宋学(朱子学)は、北宋の周敦頤に始まり、南宋の朱熹により大成された。五経に代わって四書を重視した。①秦の始皇帝は、法家の李斯を丞相とし彼の建言で焚書坑儒による思想統制を行った。②訓詁学は後漢の馬融や鄭玄などにより確立された。董仲舒は、前漢の武帝に献策して五経博士を設置し儒学の官学化に尽力した。③唐の太宗の命を受け『五経正義』を編纂したのは孔穎達である。韓愈は、唐代の文章家で、四六駢儷体を嫌って漢以前の古文の復興を唱え、柳宗元とともに唐宋八大家のひとりに数えられる。
- 問2 正解① 新機軸の解答方式。カントは大陸合理論と経験論を批判的に総合した近代哲学の創始者。ウのスピノザは、17世紀のオランダのユダヤ系哲学者で、デカルトの合理論を研究し、汎神論的な一元論哲学を樹立した。エのヒュームは、18世紀のイギリスの哲学者で、一種の懐疑論を主張した。アとイは正しいので、正解は①となる。
- 問3 正解② 標準的問題。ソフィストの代表はプロタゴラスで、「人間は万物の尺度である」という有名な言葉からも、普遍的、客観的な心理の存在を否定している。
- 問4 正解③ Aのリード文から、aは「孔子」、bは「カント」、cは「ソクラテス」、dは「釈迦」と判断できよう。アは「客観的真理」「知徳合一」からソクラテス、イは「苦しみから解脱」から釈迦、ウは「家族道德の実践」から孔子、エは「批判哲学」からカントと判明できる。
- 問5 正解② 基礎問題。①始皇帝が攻略したのは匈奴。③土木の変は、明の英宗(正統帝)がオイラト部のエセンに捕虜とされた事件。④フビライの攻撃を受けたビルマ(ミャンマー)の王朝はバガン朝である。
- 問6 正解① リード文の当時、朝鮮半島を支配していたのは李氏朝鮮で、首都は漢陽(漢城、現ソウル)。開城は高麗の首都。
- 問7 正解③ 異民族王朝の清は、漢民族の排満思想をしばしば弾圧した。特に雍正帝の時の文字の獄が嚴重であった。①『坤輿万国全図』は、明代末に中国を訪れたイエズス会宣教師のマテオ=リッチが作成した世界地図。乾隆帝の命で編纂されたものとして『四庫全書』『五体清文鑑』『大清一統誌』など。②顧炎武は、黄宗羲と並ぶ明末清初の考証学者。代表的な著書に『日知録』がある。④満州文字を作成させたのは、太祖ヌルハチ。
- 問8 正解② ツォンカバは、厳格な戒律を重視する黄帽派を始め、旧来のチベット仏教(ラマ教)を大きく改革した。彼の2大弟子の転生がダライ=ラマとパンチェン=ラマである。①トルコ系のイスラム王朝ホラズムを攻撃したのはチングス=ハンで、ガザン=ハンは、13世紀末のイル=ハン国の君主である。③ジュンガル部は、清の乾隆帝により滅ぼされた。④モンゴルやチベットは藩部とされ、理藩院の管理下に置かれた。
- 問9 正解① ルイ16世は、ルイ18世が正しい。前者はフランス革命の1793年に革命広場で処刑された。ナポレオンの敗北により即位し、ブルボン朝を復活させたのがルイ18世である。なお、②の七月革命は1830年、③のルイ=ナポレオン大統領の登場は1848年、④のバリ=コミューンは、1871年である。標準問題。

第4問 農業と農民 (配点22)

- 問1 正解② リード文中の「奴隷を使用した大所領の農業経営」から、ラティフンディアと解答できよう。①は、工場制手工業で近代初期から産業革命までの期間に支配的であった工場生産様式。③の「イクター」はイスラム世界の軍事封土制。④の「コルホーズ」は、ソ連の集団農場である。
- 問2 正解③ 標準レベルの問題。古代アテネの民主政は、18歳以上男子市民が参加する民会が最高議決機関で、市民とは両親ともアテネ出身者に限定されていた。従って、女性・在留外国人には参政権はなく、さらに「ものをいう道具」と考えられた奴隷には、参政権はない。
- 問3 正解③ ビザンツ様式の特徴は、ドーム(円天井)とモザイクである。①聖ソフィア聖堂は、レオン3世ではなく、ユスティニアヌス帝により造営された。③ササン朝の首都はティグリス沿岸のクテシフォンに置かれた。④ビザンツ帝国では、7世紀頃からギリシア語が公用語化されていた。東西教会の最終的分離は1054年である。
- 問4 正解③ ポーランド=リトアニア王国すなわち、ヤゲウォ朝を想起しよう。やや難問。①ヨーゼフ2世が正しい。②ナポレオン戦争が正しい。イエナの戦いに敗れたプロイセンでは、シュタインやハルデンベルクらにより改革が行われた。④グスタフ=アドルフは三十年戦争に際してドイツ新教徒を支援して介入したスウェーデン国王。
- 問5 正解① ミュンツァーはドイツ農民戦争の指導者のひとり。ステンカ=ラージンが正しい。
- 問6 正解④ ティトーが指導するユーゴは、独自の社会主義建設とマーシャル=プラン受け入れ表明により、コミンフォルムから除名された。②・③は第二次世界大戦前のイタリア・ムッソリーニの膨張政策。①はヴェルサイユ条約に関する事項で、①～③のいずれもが、リード文の「第二次世界大戦後の東欧」に適合しない。
- 問7 正解④ スペインはマゼランのフィリピン到達を背景に、1571年にマニラを建設し、アジア貿易の拠点とした。①オランダは、ポルトガルが正しい。②フランスは、イギリスが正しい。③マラッカは1511年にポルトガルが占領し、1641年にオランダ、1824年にはイギリス領となった。